

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

# 見てみよう！歴史地震記録と旬のあいち < 6 月 >

## ◆ 本光寺（三河地震の史跡）

所在地：額田郡幸田町大字深溝<sup>ふこうず</sup>字内山  
 交通：JR 東海道本線「三ヶ根」駅 北東約 500m



本光寺は、享禄元年（1528）に深溝松平家の初代当主松平忠定により深溝松平家の菩提寺として建立されました。

初期の本光寺は現在地から北西約 700m の幸田町大字深溝字向野一帯にありましたが、松平家の移動に伴い場所を変え、5 代忠利が深溝に戻ったのに合わせて、現在の内山の地に移動しています。

その後、主君の移動に伴い本光寺はさらに移転を繰り返し、深溝の本光寺は瑞溪山源光寺と改称しますが、寛文 13 年（1673）に再び本光寺に改称し現在に至っています。

深溝松平家は徳川将軍家を支えた 18 松平家の一つで、その歴代当主の埋葬地が本光寺に築かれています。

江戸時代の大名は、死後墓所を江戸及び領地に造ることが一般的でしたが、深溝松平家は深溝の本光寺を歴代当主の遺体を納める菩提寺とし、5 代忠利から 19 代忠<sup>ただあき</sup>諒までの当主を、死没地に関わりなく、行列を整えて深溝の地まで運び埋葬するという特殊な方法を継承しています。

また、5 代忠利が深溝へ戻ったときには、戦果に対する

加増（所領の規模の増加）を断って深溝へ戻ることを願い出たという逸話があり、深溝の地への愛着が感じられます。

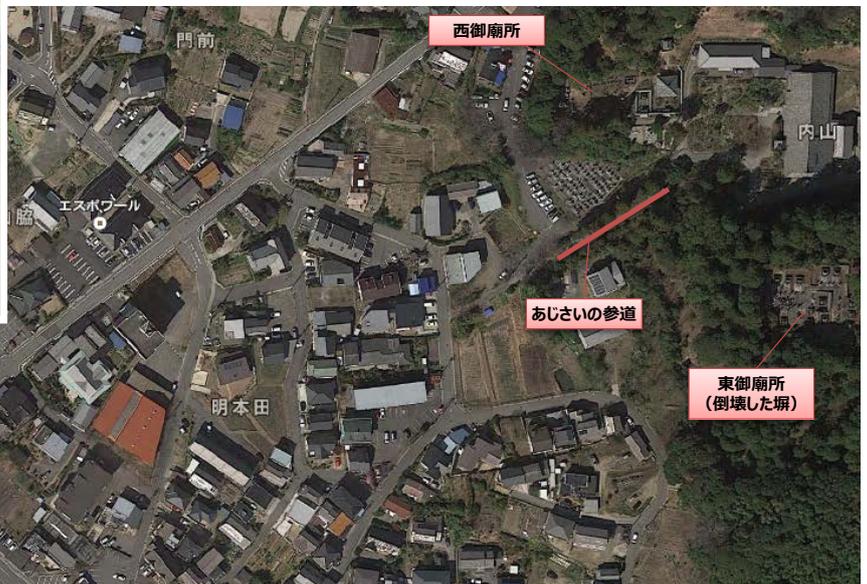
墓所は東西の廟所に分かれており、東の廟所には初代から 5 代（及び 11 代）を除くすべての墓標が同じ神殿型墓石として築かれています（6 代忠房の神道への傾倒の影響によると考えられています）、その様子は壮観です。

この東の廟所では、昭和 20 年（1945）三河地震等により土塀が崩壊する被害が発生しましたが、現在でも当時の状況がそのまま残されており、地震による揺れの強さを物語る遺構としてどのように伝え残していくかが検討されているようです。

このほかに災害に関係して、歴代藩主のうち最も多難だった 11 代忠<sup>ただひろ</sup>恕のエピソードがあります。忠恕は、宇都宮藩主、島原藩主を務めましたが、天災、地変、飢饉、凶作等が続き、最後は寛政 4 年（1792）に普賢岳の噴火爆発「島原大變」の大災害に遭い、災害による領地の壊滅的な状況下で急病を発症し、同年 4 月に急逝しました。島原で葬儀が執り行われ、遺骸は深溝へ運ばれますが、多難だったためか（どうかは定かではありませんが）、その埋葬地は歴代藩主の並び（東の廟所の 6 代忠房から 19 代忠諒）とは離れ、西の廟所に築かれています。



本光寺境内図



◆ 地震にまつわる碑や史跡には、実際にその地域で起こったことが記録されているだけでなく、当時の人たちの思い（二度と被害を繰り返さないように、など）が込められています。碑や史跡の前では、地震が実際にこの地域で起こるということを実感していただくとともに、そうした先人たちの声に耳を傾け思いを巡らせ、身の回りの備えにつなげ、これからの防災に活かしてください。



## ◆ 本光寺の周辺には…

### ● 形原神社 (わすれじの碑)

所在地：蒲郡市形原

交通：名鉄蒲郡線「形原」駅北西約1km

三河地震記念事業により、形原地区に、慰霊碑が建立されました。

この碑は、三河地震の大災害を受けて、33年目を記念して建てられたもので、「犠牲者の霊を慰め、且つまた後の世の戒めともしたい」という有志の願いが込められています。



### ● 深溝断層

所在地：幸田町大字深溝字小井文字

交通：JR 東海道本線「三ヶ根」駅西約2km



昭和20年(1945)三河地震の際にできた断層で、最大落差は約1.5m、最大左ずれ変位量は約1mです。現地ではこれらの変位量が、2本の杭で示されています。



◆ 詳細な地図は『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をご覧ください。

## ★ 本光寺紫陽花まつり

「三河のあじさい寺」としても知られる本光寺では、6月になると山門に至る参道両側にあじさいが咲き連なり、美しい景観が出現します。あじさいは15種類約10,000本植えられており、山門への参道、寺社内各所で楽しむことができます。期間中(6月1日～6月30日)は、宝物館の一般公開(入館料300円・午前10時～午後3時・月曜休み)や檀家の皆さんによる地元農産物の販売などが行われますので、三河地震による被害の状況の



見学と合わせて足をお運びください。

また、幸田町にはホタルの名所もあり、本光寺近くの拾石川でも5月～7月にかけて、ホタルが飛翔する姿を見ることができます。



### 6月のあいちの花

平成26年6月のあいちの花はブーゲンビリアです。ブーゲンビリアは熱帯雨林原産の低木で、名前は最初に発見した探検家ブガンヴィユに由来します。



花色は、赤から白、ピンクやマゼンタ、紫、橙と多様ですが、本来の花は中央部にある小さな3つの白い部分で、鮮やかな色の花びらに見える部分は花を取り巻く葉(苞葉)です。

## ● ブレイクタイム ●

### ♪ 本光寺宝物館

本光寺宝物館では、深溝松平家にまつわる調度品や武具など、たくさんの宝物が展示されています。7代当主松平忠雄の墓所の発掘調査で見つかった、金の小判やギヤマンの祝杯のレプリカなども見ることができます。大量の小判とともに発掘されたギヤマンの祝杯は、同タイプのものでドイツとイギリスで各1基ずつしか確認されておらず、発掘調査時に来ていた専門家の話では、値をつけるなら数十億だろう、とのことだったそうで、レプリカですが見てたえがあります。現在は、国の管理のもと、奈良

『本光寺宝物館』

所在地：額田郡幸田町大字深溝字内

交通：JR 東海道線「三ヶ根」駅北東約500m



◆ この地域の地震・津波に関する碑・史跡、資料・体験談集、地域に残る古文書、研究資料、郷土史研究者・団体などの情報がありましたら、[gensaisan2014@gmail.com](mailto:gensaisan2014@gmail.com) まで情報をお寄せください。

◆ 県内の歴史地震記録をホームページで紹介しています。各地の碑や史跡等にご興味をお持ちいただけましたら、『歴史地震記録に学ぶ 防災・減災サイト』(<http://www.pref.aichi.jp/bousai/densho/index.html>) をぜひご覧ください。

(発行：減齋の会(仮称)・名古屋大学減災連携研究センター 平成26年6月)

